

杵束まちづくりセンターの新たな取組

事業名

放課後子ども教室(マジスクール)

P

事業の目的(解決を目指す課題)

杵束地区の子ども達に、地区内に学習スペースや放課後の居場所を設ける。

見込まれる成果

学習意欲の向上、礼儀を学ぶ、多世代・他学年とのコミュニケーションがとれる、保護者の送迎の負担を軽減する。まちづくりセンター施設周辺に活気をもたらす、地域住民(講師・見守りボランティア)と顔見知りになる。

D

事業の概要

ターゲット：弥栄小学生・弥栄中学生 ※現時点では弥栄小学生 12名の参加

毎週月曜日15時～17時(放課後) 場所：杵束まちづくりセンター

講師・見守りボランティアは地域住民や杵束まちづくりセンター職員が担う。

宿題を行い、その後、用意したプリント2枚をする。

終わり次第、自由時間。帰宅する子、遊ぶ子や引き続き勉強する子など様々。

工夫した点、成果、課題、改善点等

- ・机の配置など試行錯誤しながら、子ども達が集中して勉強に取り組める環境を整えた。遊ぶ場が少ない為、喧嘩が起こることも多々。しかし、状況を見ながら高学年は優しく声を掛けることもある。
- ・参加する子どもの人数に対して、講師・見守りボランティアの人数が足りていないため、増やす必要がある。
- ・課題・改善点について、講師との話し合いの時間をもった。

C

課題の解決度合(10段階の自己評価)

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

						○			
--	--	--	--	--	--	---	--	--	--

上記評価の理由

杵束地区の小学生の学習スペースや居場所づくりになっている。中学生も対象であるが、参加が無い。手探り状態で始めたため、運営についてのルールや講師の確保が不十分。

A

事業の継続、発展に向けて今後取り組むこと(評価を10に近づけるために)

- ・しっかりとしたルール作り。(決まり事や時間など)
- ・夏休みや冬休みの長期休みには学習に楽しい事をプラスする。
- ・講師、見守りボランティアを増やす。(弥栄のみらい創造会議委員に担ってもらうことも要検討。)
- ・地域の協力を得ながら、子ども達の見守りを行う。

